

STEP えどがわ 2023 集団・広域避難訓練

ワークショップまとめ

STEP えどがわでは 2023 年 8 月 29～30 日に「よりリアルに」をテーマに障害当事者・支援者総勢 60 名規模で近隣の千葉商科大学へ各自で避難に必要な物を持参して一泊の避難訓練を実施しました。

訓練のプログラムの中で参加者である利用者、介助者、支援者(江戸川みんなの防災プロジェクトメンバー)が行なったワークの結果を整理し本資料にまとめました。

ワークでは、「避難先」「支援者」「移動」「荷物」「お金」の5つをテーマに課題と解決策を考えました。また、その他、自由討論、感想についても取りまとめました。

テーマ①:避難先

明日、避難しなければならなくなったとき、安全な避難先を見つけられる？そう答える理由を教えてください

単に自分が避難するというだけでなく、家族やペットなど生活を共にするものをどうするかといった声が挙げられていました。また、人手の確保、慣れた人と一緒に避難など避難した後の避難生活を考えた声が多く聞かれています。また避難先の環境を事前に把握しておく必要があるという意見もあり、いずれにせよ事前に幾つかの避難先の候補、避難手段や支援者など様々検討しておかなければ、急な避難は難しいという意見が大半でした。

テーマ②:支援者

一緒に避難し、更に避難先で数日間一緒に過ごす支援者を得ることはできそう？そう答える理由を教えてください

制度上の介助者を長期間に及んで確保する事は困難、日常的に支援にかかわっていない人に支援してもらう事は難しい、支援者の事情によっては確実に支援を頼めるか不明など、「難しい」との声が大半でした。

解決策案として、やはり集団広域避難のような支援者と共に避難できる場所の確保が必要という声が挙がっていますが、その他、事前に対応にあたる支援者を検討、連絡先の交換、家族や近隣の支援が得られるようにする、指定避難所でも受け入れられる体制を作る、避難先の体制を整えるなどといった意見も挙がっています。

テーマ③:移動

まだ天気の悪くならないうちに、江戸川区から遠くないところに避難するとして、移動手段の確保はできそう？

そう答えた理由も教えてください。

持ち出す荷物や車椅子(のサイズ)、ペット同行など、またその時の状況(天候や渋滞など)によって移動手段が限定される可能性がある、介護タクシーの確保(予約)が困難な可能性がある、移動前の荷物の準備にも支援者が必要といった不安の声が挙がっています。

テーマ④:荷物

いざというときに、必要なものを速やかに揃えて荷造りできそう？そう答えた理由も教えてください。

荷物の量によって移動の制約や介助者の確保が必要となるため、荷物を極力少なくする必要があるが、持ち出す荷物の選定・判断が難しく避難先の環境などにも影響を受ける事が予測される。その為、荷物リストの作成や旅行の荷造りの際に災害時も想定して考えておく、常備薬の予備を日頃から確保しておくなどといった事前準備の必

要性を挙げる声が聴かれています。また、荷物を少なくする工夫として、広域避難の場合は現地調達が可能な事を考慮して荷物を選定する、集団避難であればシェアが出来る物などを調整して個々の荷物を減らすことが出来る、避難先へ配送できたり事前に保管してもらえたら助かる、などといったアイデアも出ていました。

テーマ⑤:お金

今回の訓練では交通費や物品購入費などかかっていると思います。その支出は皆さんにとってどのように感じますか？（公共交通機関の場合は片道580円程度）

タクシー利用の場合は移動費の負担が大きいとの声が挙がっていますが、多くの者が公共交通機関(電車とバス)を使っていました。

物品購入費に関してはマットなどは実際に試さずに購入は困難、訓練で使わなかった物の負担感が大きいという声もある一方、今後にも役に立つと思ったので訓練を機に購入したという者もいました。実際の場合を想像すると、早期避難が空振りだった場合、宿泊費・介助にかかる費用などが負担になる、長期化した場合の費用負担の不安などの声が挙がっていました。

自由討論

多くの障害当事者の方々にとって、「近場」に「早めに避難」するハードルを下げるにはどうしたらよいでしょう？

日頃からご近所や友人等災害時に自分の事を気にかけてくれるような関係性を構築する事の必要性や、障害のある者の避難の困難さを様々な形で伝えていく事の必要性の声が挙がっています。また、災害の怖さなどネガティブな発信より、日頃の取組の楽しさ・必要性などポジティブな発信が必要、同じ障害・境遇を持つ知り合いなどに訓練の体験を伝え、避難訓練への参加を促す事も重要ではないかという意見もありました。

泊まった感想

宿泊体験により得られた気付きは様々で、特に寝具の寝心地などは1泊したからこそ、それぞれに良し悪しが体感できたようです。また、室温、明かり、周囲の音、プライバシーへの配慮など様々な要因が睡眠に影響を及ぼしており、準備しておいたほうが良い物などの気付きがあったという声が多く聞かれています。また、時間つぶしになるような物を用意する事が必要という声もありました。広域避難なら現地調達が可能と思ったが場所によっては買い出しに行くのも大変だったりするという事にも気付いたという声も聞かれています。

以上